

## 2005年 吉備国際大学社会福祉学部 専任教員業績リスト(五十音順)

このリストは、専任教員が2005年1月1日から2005年12月31日までに刊行したり、かかわったりした①著訳書、②学術論文、③報告書、④学会発表、⑤書評論文、⑥雑誌、⑦新聞、⑧公開講座、⑨放送、⑩講演である。紀要委員が、12月8日までに自己申請するように各専任教員に依頼し、返却された申請書に添って作成した。なお、自己申請に応じなかったか、あるいは上記期間内に該当する刊行物や活動がなかった専任教員に関しては、このリストから除外した。

自己申請の依頼に際して、教員間の書式を統一するために、①著訳書(単著、編著、編、共編著、共著、分担執筆、訳、監訳、共訳、分担訳などの類別、並びに、出版社、発行年月日を明記、共編・共著・共訳の場合は共編著訳書名を列記、分担執筆・分担訳の場合は編者名・監訳者名をそれぞれ記載)②学術論文(学術誌名、巻、ページ、単著、共著の別を明記し、共著の場合はそれが第一著者か、連名著者(第二著者以下)かを記載)、③報告書(単著、共著の別を明記し、共著の場合はそれが研究代表者なのか、連名著者(第二著者以下)かを記載)、④学会発表(国内外を問わず、機関誌を刊行する学会の主催する学会報告に限り、単名発表、連名発表の責任者(登壇者)、連名発表での連座の別を明記)、⑤書評論文、⑥雑誌、⑦新聞、⑧公開講座、⑨放送、⑩講演、それぞれの記載スタイル(ここには非掲載)を例示し、一応それにしたがって提出いただいた。

### 社会福祉学科

大熊 直子(おおぐま・なおこ)

#### ②学術論文

- (1)「ピアノ奏法における『ボディ・マップ』の有効性の研究～腱鞘炎の回復とショパン「前奏曲」演奏～」吉備国際大学社会福祉学部研究紀要 第10号、23-38、2005年3月、(共著、第一著者)

#### ⑩講演(演奏)

- (1)「モーツァルト：レクイエム K.626」岡山フィルハーモニック管弦楽団第26回定期演奏会、2005年3月11日、於：岡山シンフォニーホール(共演、オルガン)
- (2)「J.S. バッハ：クリスマス・オラトリオⅠ～Ⅲ」岡山バッハカンタータ協会、2005年12月18日、於：岡山シンフォニーホール(共演、オルガン)

加藤 博仁(かとう・ひろひと)

#### ① 著訳書

- (1)「第4章 家族援助の方法 section 1 家族援助技術の体系、section 2 家族援助の過程と方法」(分担執筆)、保育士養成講座編纂委員会編『改訂保育士養成講座2005 第11巻 家族援助論』全国社会福祉協議会、pp.111-135、2005年2月4日
- (2)「第6章 相談援助活動」(分担執筆)、網野武博編著『児童福祉の新展開 改訂第二版』同文書院、pp.127-149、2005年4月1日

#### ③ 報告書

- (1)「傷ついた相談員に対するケア面接の留意点」,「ケア面接の方法に関する研究」(単著),『2005年厚生労働省自殺防止補助事業ブロック研修報告書』,2005年10月26日

#### ⑩ 講演

- (1)「児童虐待予防でできることーネグレクトを中心にー」,岡山県阿新局健康福祉部 児童虐待予防研修会、2005年2月22日、於：阿新保健所
- (2)「高齢者、障害者(児)等の家族の理解」TEI 2005年度ホームヘルパー2級養成講座、2005年6月4日、於：順正短大
- (3)「ワークショップ 人間関係づくり」岡山県教育事務所 平成17年度備前地区幼稚園・小学校・中学校PTA指導者研修会、2005年7月12日、於：灘崎町町民会館
- (4)「カウンセリング演習」加計・高梁学園関連学園学生相談連絡協議会 第5回関連学園学生相談研修会、2005

年8月2・3日，於：岡山理科大学

- (5)「演習 ロールプレイ」母子愛育会 平成17年度専門里親養成研修（東京会場），2005年8月20日，於：日本子ども家庭総合研究所
- (6)「相談員の心理的ケアを要する状態への援助（講演・演習）」厚生労働省自殺防止補助事業・日本いのちの電話連盟 2005年厚生労働省自殺防止補助事業ブロック研修（九州ブロック），2005年8月24日，於：福岡市健康づくりセンター
- (7)「元気とスキルと創造のエクササイズ」埼玉いのちの電話 2005年度夏期特別研修，2005年8月27・28日，於：彩の国すこやかプラザ
- (8)「相談員の心理的ケアを要する状態への援助（講演・演習）」厚生労働省自殺防止補助事業・日本いのちの電話連盟 2005年厚生労働省自殺防止補助事業ブロック研修（北海道・東北ブロック），2005年8月30日，於：盛岡市マリオス
- (9)「相談員の心理的ケアを要する状態への援助（講演・演習）」厚生労働省自殺防止補助事業・日本いのちの電話連盟 2005年厚生労働省自殺防止補助事業ブロック研修（中部・近畿ブロック），2005年8月31日，於：アクトシティ浜松
- (10)「相談員の心理的ケアを要する状態への援助（講演・演習）」厚生労働省自殺防止補助事業・日本いのちの電話連盟 2005年厚生労働省自殺防止補助事業ブロック研修（関東ブロック），2005年9月6日，於：かながわ県民センター
- (11)「演習 ロールプレイ」母子愛育会 平成17年度専門里親養成研修（京都会場），2005年9月10日，於：同志社大学
- (12)「相談員の心理的ケアを要する状態への援助（講演・演習）」厚生労働省自殺防止補助事業・日本いのちの電話連盟 2005年厚生労働省自殺防止補助事業ブロック研修（中国・四国ブロック），2005年9月13日，於：岡山市コンベンションセンター

#### 錦織 毅夫（にしごり・たけお）

##### ②学術論文

- (1)「リラックス状態における $\alpha$ 波の波状振動」吉備国際大学社会福祉学部研究紀要 第10号 39-43ページ 2005年3月31日（共著，第一著者）。

#### 横山奈緒枝（よこやま・なおえ）

##### ②学術論文

- (1)「高齢者福祉領域における社会福祉援助技術現場実習の現状－全国調査との比較を中心として－」吉備国際大学社会福祉学部研究紀要，第10号，55-64，2005年3月31日（共著，連名執筆）
- (2)「高齢者福祉領域における社会福祉援助技術現場実習の内容と学び－学生調査と施設調査の比較－」吉備国際大学保健福祉研究所研究紀要，第6号，59-67，2005年3月31日（共著，連名執筆）
- (3)「大学生による高齢者との対人関係の困難に関する原因認知」岡山大学大学院文化科学研究科紀要，第19号，127-139，2005年3月31日（共著，連名執筆）
- (4)「高齢者との交流に必要なソーシャルスキル：研究課題の展望」岡山大学大学院文化科学研究科紀要，第19号，191-206，2005年3月31日（共著，連名執筆）
- (5)「介護保険法改正にみる高齢者へのソーシャルワークの課題－社会福祉援助技術に焦点を当てて－」日本ソーシャルワーカー協会岡山支部・岡山ソーシャルワーカー協会機関紙 記念号（第23号），36-43，2005年12月（単著）

##### ③報告書

- (1)「老人福祉領域における実習教育のあり方(3) 平成16年度」吉備国際大学社会福祉学部学内共同研究報告書，吉備国際大学社会福祉学部学内実習委員会（高齢者福祉グループ）2005年3月31日（共著，連名著書）
- (2)「くらしき 権利擁護－高齢者・障害者の権利を擁護するための調査報告書－」高齢者・障害者の権利を擁護するための調査・研究会（倉敷市），2005年3月31日（共著，研究代表者）

## 健康スポーツ福祉学科

天岡 寛 (あまおか・ひろし)

### ④学会発表

- (1)「自閉症圏児を対象とした水中運動教室の実践ー平成16年度のまとめー」日本体力医学会 第60回大会 平成17年9月23日 於：川崎医療福祉大学 (連名発表の連座)
- (2)「近赤外分光画像計測法で評価した Venous Oxygenation Index (VOI) の日内変動」日本体力医学会中国四国地方会 第55回大会 平成17年6月4日 於：愛媛大学 (連名発表の連座)
- (3)「自閉症圏児を対象とした水中運動教室の実践ー平成16年度のまとめー」日本体力医学会中国四国地方会 第55回大会 平成17年6月4日 於：愛媛大学 (連名発表の連座)

井頭 昭子 (いがしら・あきこ)

### ②学術論文

- (1)「高齢者福祉領域における社会福祉援助技術現場実習の現状ー全国調査との比較を中心としてー」吉備国際大学社会福祉学部研究紀要 第10号, pp55-64, 2005年3月31日 (共著, 連名著者)
- (2)「高齢者福祉領域における社会福祉援助技術現場実習の内容と学びー学生調査と施設調査の比較ー」保健福祉研究所研究紀要 第6号, pp59-67, 2005年3月 (共著, 連名著者)

### ③報告書

「高齢者福祉領域における実習教育のあり方(3) 平成16年度社会福祉学部学内共同研究報告書」吉備国際大学社会福祉学部学内実習委員会 (高齢者福祉グループ), 2005年3月 (共著, 連名著者)

### ⑩講演

「健康づくりと地域活動」高梁市栄養教室, 2005年3月16日, 於：高梁市総合福祉センター

孫 其然 (そん・きぜん)

### ① 訳書

- (1)意識「審視瑤函」, 漢方の臨床, 52(2), 292-294, 2005年2月 (共訳・補注)
- (2)意識「審視瑤函」, 漢方の臨床, 52(8), 1253-1257, 2005年8月 (共訳・補注)
- (3)意識「審視瑤函」, 漢方の臨床, 52(9), 1409-1414, 2005年9月 (共訳・補注)
- (4)意識「審視瑤函」, 漢方の臨床, 52(10), 1652-1656, 2005年10月 (共訳・補注)
- (5)意識「審視瑤函」, 漢方の臨床, 52(11), 1903-1910, 2005年11月 (共訳・補注)

### ②学術論文

- (1)『黄帝内経』を中心として見た800年前の冤罪「四(回)逆湯・その一」, 季刊内経, 第159号, 3-16, 2005年3月 (単著)
  - (2)『黄帝内経』を中心として見た800年前の冤罪「四(回)逆湯・その二」, 季刊内経, 第160号, 29-49, 2005年6月 (単著)
  - (3)『黄帝内経』を中心として見た800年前の冤罪「四(回)逆湯・その三」, 季刊内経, 第161号, 3-26, 2005年12月 (単著)
  - (4)奇経八脈についての再考その一, 鍼灸 OSAKA, Vol.20. No.4, 437-440, 2005年3月 (単著)
  - (5)奇経八脈についての再考その二, 鍼灸 OSAKA, Vol.21. No.1, 85-90, 2005年6月 (単著)
  - (6)奇経八脈についての再考その三, 鍼灸 OSAKA, Vol.21. No.2, 181-190, 2005年9月 (単著)
  - (7)奇経八脈についての再考その四, 鍼灸 OSAKA, Vol.21. No.3, 297-305, 2005年11月 (単著)
- 難治性眼疾患の中医治療, 中医臨床, Vol.26. No.3, 14-18, 2005年9月 (共著)

### ④学会発表

- (1)漢方の基本原則“随証治之”の研究(その七) 日本東洋医学雑誌. 56(別冊号), 138, 2005年5月20日 (単著), 於：富山国際会議場
- (2)加齢性黄斑変性症 (AMD) の2症例, 56(別冊号), 248. 2005年5月20日 (共著, 連名発表の責任者)

### ⑩講演

- (1)「中医弁証の基礎および応用」東海漢方協議会, 2005年9月10日, 於：名城大学薬学部

**中山 哲哉** (なかやま・てつや)

## ②学術論文

- (1)「子どもへの病気説明を親はいかに行うかー予備調査の結果からー」順正短期大学研究紀要, 第33号, 39-47, 2005年2月28日 (単著)
- (2)「女子高校生における育児性の形成発達」福祉おかやま (日本ソーシャルワーカー協会岡山支部・岡山ソーシャルワーカー協会機関誌), 記念号 (第23号), 13-20, 2005年12月20日 (単著)

## ⑩講演

- (1)「発達障害をもつ子どもとその親に対する支援」岡山保健所管内保健師等保健活動従事者研修会, 2005年2月14日, 岡山衛生会館

**藤澤 智子** (ふじさわ・ともこ)

## ②学術論文

- (1)「高齢者福祉領域における社会福祉援助技術現場実習の現状ー全国調査との比較を中心としてー」吉備国際大学社会福祉学部研究紀要 第10号, pp55-64, 2005年3月31日 (共著, 第一著者)
- (2)「高齢者福祉領域における社会福祉援助技術現場実習の内容と学びー学生調査と施設調査の比較ー」保健福祉研究所研究紀要 第6号, pp59-67, 2005年3月 (共著, 連名著者)

## ③報告書

- (1)「高齢者福祉領域における実習教育のあり方(3) 平成16年度社会福祉学部学内共同研究報告書」吉備国際大学社会福祉学部学内実習委員会 (高齢者福祉グループ), 2005年3月 (共著, 連名著者)

## ④学会発表

- (1)「自閉症圏児を対象とした水中運動教室の実践ー平成16年度のまとめー」第55回日本体力医学会中国・四国地方会, 2005年6月4日, 於: 愛媛大学 (連名発表の責任者)
- (2)“Practicing Water Exercise for The Children with Autism Spectrum Disorders” 10<sup>th</sup> Annual Congress of the EUROPEAN COLLEGE of SPORTS SCIENCE, 13-16 July 2005 in BELGRADE, (連名発表の責任者)
- (3)「精研式 CLAC-2 で評価した水中運動教室参加自閉症児の行動分析」第60回日本体力医学会, 2005年9月24日, 於: 川崎医療福祉大学 (連名発表の責任者)

**向井 通郎** (むかい・みちお)

## ①著訳書

- (1)「保育におけるソーシャルワーク」西日本法規出版, 2005年4月15日 (共編著, 分担執筆)
- (2)「ケースマネジメント用語辞典」杉本敏夫・米増國男・南武志・和田謙一郎編著, ミネルヴァ書房, 2005年12月20日 (分担執筆)

**山口 英峰** (やまぐち・ひでたか)

## ②学術論文

- (1)「なわとび中の酸素摂取量減少とヒト下腿三頭筋の筋, 腱ー弾性系との関係について」吉備国際大学社会福祉学部研究紀要, 10, 65-73, 2005年3月31日 (共著, 第一著者)

## ④学会発表

- (1)「大山夏山登山時の水分摂取量が直腸温, 心拍数, 自覚的運動強度および血中成分に及ぼす影響ーお茶と水ー」第56回日本体力医学会中国・四国地方会, 2005年11月20日, 於: 香川大学研究交流棟 (連名発表ー連座)
- (2)「携帯型計測装置 Intelligent Calorie Counter による身体活動エネルギー消費量評価」第60回日本体力医学会, 2005年9月23日, 於: 川崎医療福祉大学 (連名発表ー連座)
- (3)「ハンドエルゴメーター運動がH波の潜時に及ぼす影響」第60回日本体力医学会, 2005年9月23日, 於: 川崎医療福祉大学 (連名発表ー連座)
- (4)「運動がH反射に及ぼす影響」第55回日本体力医学会中国・四国地方会, 2005年6月4日, 於: 愛媛大学 (連名発表ー連座)
- (5)「近赤外分光画像計測法で評価した Venous Oxygenation Index (VOI) の日内変動」第55回日本体力医学会中

国・四国地方会，2005年6月4日，於：愛媛大学（連名発表一連座）

## 精神保健福祉学科

**福島 知子**（ふくしま・ともこ）

### ①著訳書

- (1)「障害者医療と福祉」（分担執筆）牧洋子・和田謙一郎（編）『転換期の医療福祉』せせらぎ出版，99-111，2005年4月

### ②学術論文

- (1)「ホームヘルプ制度の成立と展開」田尾雅夫，佐藤卓利，福島知子，重田博正（編）『介護労働とマネジメント』13-21，2005年5月，大学コンソーシアム京都  
 (2)「介護労働のマネジメントの実態」田尾雅夫，佐藤卓利，福島知子，重田博正（編）『介護労働とマネジメント』155-170，2005年5月，大学コンソーシアム京都

### ④学会発表

- (1)「精神障害者ホームヘルプ事業の3年間の事業評価について」，滋賀県公衆衛生学会，2006年2月16日，於；ピアザオウミ  
 (2)『精神障害者ホームヘルプ事業3年間の事業の効果と課題について』，滋賀県社会福祉学会，2006年2月22日，於；レイカディア

**藤嶋 由**（ふじしま・ゆう）

### ②学術論文

- (1)「知的障害者福祉サービスの課題—ノーマリゼーション原理の思想の具現化を目指して」吉備国際大学社会福祉学部研究紀要，10，105-112. 2005年3月31日（単著）

### ④学会発表

- (1)「地域生活支援の思想—知的障害者との「関係」の平等の実現を目指して」日本社会福祉学会第53回全国大会，2005年10月9日，於：東北福祉大学（単名発表）

**日野田公一**（ひのだ・こういち）

### ④学会発表

- (1)「就労支援を成功させるカギとは—ストレングスの視点」シンポジウム『精神障害者の職業的自立支援の展開』日本職業リハビリテーション学会，2005年7月1日，於：名桜大学（単名発表）

**平見 勇雄**（ひらみ・いさお）

### ②学術論文

- (1)「英語所有構文に現れるプロトタイプから外れる用例に関する考察」吉備国際大学社会福祉学部研究紀要，10，91-104. 2005年3月31日（単著）

**芝 明義**（しば・あきよし）

### ②学術論文

- (1)「精神疾患を患うことによる自尊感情の傷つきとその回復過程」聖書と精神医療第19号，2005年8月28日（単著）

### ⑩講演

- (1)「心が疲れたときに欲しい手助け」真庭保健所心の健康づくり県民講座，2005年1月26日 於：真庭保健所  
 (2)「看護における精神保健」高知県立東高等学校特別非常勤講師招聘事業，2005年2月23日 於：高知県立東高等学校  
 (3)「心の絆いまここに—コミュニケーションを大切に—」勝央町 平成16年度勝央町保健福祉大会，2005年3月2日 於：勝央文化ホール

- (4)「変換期を迎える精神保健福祉制度と精神障害者支援」香川県精神保健福祉協会 精神保健福祉業務従事者研修会, 2005年3月18日 於:高松テルサ
- (5)「行政施策とホームヘルプサービスの意義と要点」香川県小豆総合事務所 精神障害者ホームヘルパー講習会, 2005年7月4日 於:香川県小豆総合事務所
- (6)「心の健康づくりーストレスへの対処法」高梁市 宇治町健康教室, 2005年8月1日 於:宇治町総合会館
- (7)「ホームヘルプサービスの意義・生活障害への援助と社会資源活用方法について」香川県西讃保健福祉事務所 精神障害者ホームヘルパー講習会, 2005年9月15日 於:三豊合同庁舎
- (8)「だれもが住みやすい街になるために」(コーディネーター) 勝英保健所 心のバリアフリー推進事業, 2005年11月17日 於:バレンタインプラザ

#### 清水 光二 (しみず・こうじ)

##### ②学術論文

- (1)「多和田葉子の言語体験——“Von der Muttersprache zur Sprachmutter”(母語から語母へ)」吉備国際大学社会福祉学部研究紀要, 10, 75-80, 2005年3月31日 (単著)

#### 庄盛 敏廉 (しょうもり・としきよ)

##### ②学術論文

- (1)「てんかんの心理社会的側面」吉備国際大学社会福祉学部研究紀要, 10, 7-14. 2005年3月31日 (共著, 第一筆者)

#### 杉原 俊二 (すぎはら・しゅんじ)

##### ②学術論文

- (1)「自分史分析の研究 (XIII)ーTMさんの大学入学」UNITED, 6, 2-7. 2005年2月1日 (単著)
- (2)「牧会コンサルティング (III)ー教会か保育園か(1)」人間科学, 14, 2-5. 2005年3月25日 (単著)
- (3)「自分史分析の研究 (21)ーSさんの修士課程」人間科学, 14, 6-12. 2005年3月25日 (単著)
- (4)「自分史分析に関する一考察 (I)ーナラティブアプローチへの手掛りー」吉備国際大学社会福祉学部研究紀要, 10, 81-90. 2005年3月31日 (単著)
- (5)「自分史分析に関する一考察 (II)ー生き方を変えるきっかけー」吉備国際大学保健福祉研究所研究紀要, 6, 49-58. 2005年3月31日 (単著)
- (6)「自分史分析の研究 (XIV)ーTMさんの大学時代」UNITED, 7, 2-7. 2005年4月1日 (単著)
- (7)「自分史分析の研究 (XV)ーTMさんの医学部時代」UNITED, 8, 2-7. 2005年6月1日 (単著)
- (8)「牧会コンサルティング (IV)ー教会か保育園か(2)」人間科学, 15, 2-5. 2005年6月25日 (単著)
- (9)「自分史分析の研究 (22)ーSさんの短大講師」人間科学, 15, 6-12. 2005年6月25日 (単著)
- (10)「対人援助学とKJ法」人間科学研究, 2, 1-10. 2005年7月31日 (単著)
- (11)「対人援助学と自分史分析」人間科学研究, 2, 11-20. 2005年7月31日 (単著)
- (12)「自分史分析の研究 (XVI)ーTMさんの医師修業」UNITED, 9, 2-7. 2005年8月1日 (単著)
- (13)「身体性とは何かー『こころ』のフィールドノート(6)」人間科学, 16, 2-5. 2005年9月25日 (単著)
- (14)「自分史分析の研究 (23)ーSさんの短大助教授」人間科学, 16, 6-12. 2005年9月25日 (単著)
- (15)「自分史分析の研究 (XVII)ーTMさんの幼少期」UNITED, 10, 2-7. 2005年10月1日 (単著)
- (16)「自分史分析の研究 (XVIII)ーTMさんの中学・高校時代」UNITED, 11, 2-7. 2005年12月1日 (単著)
- (17)「カウンセリングとは何かー『こころ』のフィールドノート(7)」人間科学, 17, 2-5. 2005年12月25日 (単著)
- (18)「自分史分析の研究 (24)ーSさんの施設長時代」人間科学, 17, 6-12. 2005年12月25日 (単著)

##### ④学会発表

- (1)「KJ法と対人援助学(3)」第29回KJ法経験交流会, 2005年6月12日, 於:川喜田研究所 (単名発表)
- (2)「KJ法(点メモ花火)によるナラティブアプローチー自分史分析の方法ー」日本描画テスト・描画療法学会第15回大会, 2005年9月18日, 於:東北大学医学部 (単名発表)
- (3)「KJ法図解とナラティブアプローチ」第29回KJ法学会, 2005年11月12日, 於:東京工業大学 (単名発表)

- (4)「諸科学との対話：対人援助学とその周辺」（基調講演）大阪人間科学研究会第4回学術集会，2005年12月11日，於：堺大浜キリスト教会（単名発表）
- (5)「ソーシャルワークはどのように成立したのか：カウンセリング，サイコセラピーとの対話から」（シンポジウム）『諸科学との対話』大阪人間科学研究会第4回学術集会，2005年12月11日，於：堺大浜キリスト教会（単名発表）

⑩講演

- (1)「こころとからだの健康－高齢者の心理面への援助の必要性と方法－」平成17年度高梁北保健学級5月教室（高梁市健康福祉部），2005年5月11日．於：高梁市総合福祉センター
- (2)「人間関係づくり－子どもを勇気づける言葉かけ，接し方－」平成17年度備前地区幼稚園・小学校・中学校PTA指導者研修会（岡山県教育委員会・岡山市教育委員会），2005年7月12日．於：灘崎町町民会館
- (3)「地域で生活するための工夫」たいようの丘文化祭講演（医療法人梁風会たいようの丘自治会），2005年11月23日．於：たいようの丘

**保積 功一**（ほづみ・こういち）

②学術論文

- (1)「社会福祉現場実習教育を巡って－学生の「気づき」を中心に－」吉備国際大学社会福祉学部研究紀要第10号，113－124，2005年3月31日（単著）

③報告書

- (1)「たかはし子ども未来ゆめプラン」高梁市次世代育成支援行動計画（平成17年度～21年度），高梁市健康福祉部社会福祉課，2005年3月

⑩講演

- (1)「発達障害児の理解について－支援困難事例を中心に－」阿新保健所地域支援連絡協議会主催「哲西町保育所・幼稚園・教職員研修会」於：哲西町立幼稚園 2005年1月26日
- (2)「子どもの発達について（第1回）」高梁市健康増進課「高梁市在宅心身障害児通所事業保護者会」於：高梁市社会福祉会館 2005年3月10日
- (3)「発達障害児との関わり方，暮らすあるいは学校単位での連携など環境の整え方」広島県大崎上島町教職員・関係機関の職員研修会（大崎上島町教育委員会）於：同庁舎ホール 2005年7月4日
- (4)「子どもの発達について－年少幼児に焦点を当てて－（第2回）」高梁市健康増進課「高梁市在宅心身障害児通所事業保護者会」於：高梁市文化会館 2005年11月17日

**山北 勝寛**（やまきた・かつひろ）

①著訳書

- (1)（分担執筆）杉本敏夫ほか（編）『ケアマネジメント用語辞典』ミネルヴァ書房，2005年12月20日

**臨床心理学科**

**伊東 真里**（いとう・まり）

①著訳書

- (1)「情緒障害」（分担執筆）大石史博，西川隆蔵，中村義行（編著）『発達臨床心理学ハンドブック』，ナカニシヤ出版，61－73，2005年11月15日

②学術論文

- (1)「チック症状を呈した症児に対する総合的アプローチ」吉備国際大学社会福祉学部研究紀要，10，121－134，2005年3月1日（単著）

⑩講演

- (1)「小児心身症の総合的アプローチ」関西福祉科学大学出張講義，2005年5月25日，於：関西福祉科学大学
- (2)「カウンセリングⅡ」九州保健福祉大学通信教育部講義，2005年7月30日～7月31日，於：東京タイム24ビル
- (3)「心身症状を伴う不登校児について」医療心身懇話会講演，2005年8月6日，於：神戸中央病院

- (4)「老人介護とその対応の仕方」老人保健施設はぎの里研修会講演，2005年9月17日，於：老人保健施設はぎの里
- (5)「子どもを見る目」吉富小学校講演，2005年10月1日，於：吉富小学校

### 大野 裕史（おおの・ひろし）

#### ①学術論文

- (1)発達障害児を持つ親に対する支援プログラムの効果(1). 吉備国際大学臨床心理相談研究所紀要, 2, 17-31. 2005年3月15日 (共著, 筆頭)
- (2)発達障害児を持つ親に対する支援プログラムの効果(2). 吉備国際大学臨床心理相談研究所紀要, 2, 33-44. 2005年3月15日 (共著, 筆頭)

#### ⑩講演

- (1)「発達障害について」岡山市立興除中学校校区研修会 2005年8月2日 於：岡山市興除公民館

### 久保 義郎（くぼ・よしお）

#### ①著書

- (1)臨床心理学キーワード補訂版 (共著) 有斐閣, 2005年10月

#### ④学会発表

- (1)「看護職者の針刺しに伴うストレスとサポートの関係」(連名発表の連座), 日本ヒューマン・ケア心理学会第7回大会プログラム・発表論文集, p59-60, 2005年8月26日, 於：桜美林大学(東京都町田市)
- (2)「脳外傷者に実施した神経心理学的検査の統計的検討(6)-BADS (遂行機能障害症候群の行動評価)との関連-」(連名発表の連座), 日本心理学会第69回大会発表論文集, p330, 2005年9月11日, 於：慶応義塾大学(東京都港区)
- (3)「脳外傷者の実施したBADSの統計的検討」(連名発表の連座), 第29回日本高次脳機能障害学会総会プログラム・講演抄録, p122, 11月26日, 於：川崎医療福祉大学(倉敷市)

#### ⑩講演

- (1)「心理的問題と認知障害が疑われる生徒への支援について-環境調整による認知機能のサポート-」, 岡山県立高梁高等学校校内研修会, 2005年10月4日, 於：岡山県立高梁高等学校
- (2)「学習の遅れが気になる児童への対応の仕方, および保護者への協力依頼のあり方」, 高梁市立宇治小学校校内研修会, 2005年12月13日, 於：高梁市立宇治小学校

### 小西 賢三（こにし・けんぞう）

#### ②学術論文

- (1)「リラックス状態におけるα波の波状振動」吉備国際大学社会福祉学部研究紀要, 10, 39-43, 2005年3月31日 (共著, 連名著者)

#### ③報告書

- (1)「事象関連電位を用いた顔認識過程の検討-自閉症者への応用の試み-」吉備国際大学臨床心理研究所紀要, 2, 7, 2005年3月15日 (単著)

#### ④学会発表

- (1)「作業記憶探索は刺激視野と反対側の後側頭部で早く始まる」第23回日本生理心理学会大会, 2005年5月29日, 名古屋・愛知学院大学 (連名)
- (2)「視線移動に伴う関係性逸脱と事象関連脳電位」日本心理学会第69回大会, 2005年9月10日, 東京・慶應義塾大学 (連名)

### 小林 俊雄（こばやし・としお）

#### ②学術論文

- (1)「恵まれた家庭の子どもと連想テスト(2報)」単著, 『月刊家庭科教育1月号』, 第79巻第1号: 79-84, 平成17年1月1日
- (2)「ADLテストにおける交通事故リハビリテーション患者の男女差」単著, 『吉備国際大学社会福祉学部紀要』



第10号：125-136頁，平成17年3月31日

⑨放送

- (1) テレビニュース番組特集ドキュメント KSB スーパーJチャンネル「高次脳機能障害；社会復帰をめざす男性に密着」，KSB 瀬戸内海放送テレビ局，平成17年2月8日18時7分放送開始～18時27分放送終了，(共同)

⑩講演

- (1) 「心理カウンセラーからみた高次脳機能障害～当事者に対する家族の関わり方～」主催 NPO 法人おかやま脳外傷友の会モモ（通称モモの会）於：くらしき健康福祉プラザホール，平成17年5月22日（単独講演）
- (2) 「個別事例への対応」平成17年度学校ふれあい促進事業（岡山県），高梁市特別支援連携協議会委員教育推進事業（単独講演）於：岡山県高梁市福地小学校，平成17年12月8日。

**津川 秀夫**（つがわ・ひでお）

②学術論文

- (1) 痛みへのアプローチ：ブリーフセラピー，臨床心理学，5，4，491-496. 金剛出版。（単著）
- (2) 発達障害児を持つ親に対する支援プログラムの効果(1)，吉備国際大学臨床心理相談研究所紀要，2，17-31.（連名）
- (3) 発達障害児を持つ親に対する支援プログラムの効果(2)，吉備国際大学臨床心理相談研究所紀要，2，33-44.（連名）

④学会発表

- (1) ブリーフセラピーにおける基礎研究のすすめ．大会企画「語り場：研究」，日本ブリーフサイコセラピー学会第15回滝沢村大会プログラム・抄録集，18-19. 2005年8月6日，於：岩手県立大学。（シンポジウム話題提供，単名）
- (2) 登校支持要因に関する研究．日本心理学会第69回大会発表論文集，1278. 2005年9月11日，於：慶應義塾大学。（連名）
- (3) 非言語的強調が身体感覚に及ぼす影響：散りばめ技法の実験的検討．日本心理学会第69回大会発表論文集，958. 2005年9月11日，於：慶應義塾大学。（連名）
- (4) 音調のもつメッセージ性についての検討：メタ・コミュニケーションという観点から．日本心理学会第69回大会発表論文集，957. 2005年9月11日，於：慶應義塾大学。（連名）
- (5) 話し手の身振りが聞き手の記憶に及ぼす影響．日本心理学会第69回大会発表論文集，1076. 2005年9月11日，於：慶應義塾大学。（連名）
- (6) ブリーフセラピー実践 Q&A. ブリーフセラピー・ネットワーク・ジャパン第10回大会，2005年11月20日，於：住友製薬参宮寮。（シンポジウム話題提供，単名）

⑩講演

- (1) 「平成16年度不登校支援研修会」倉敷市教育委員会，2005年1月19日～2月17日（計2回），於：倉敷市庁舎
- (2) 「平成17年度不登校支援研修会」倉敷市教育委員会，2005年4月18日～11月14日（計5回），於：倉敷市庁舎
- (3) 「保護者への関わり方：効果的な援助に向けて」姫路市総合福祉通園センター，2005年7月27日，於：姫路市総合福祉通園センター
- (4) 「エリクソニアン・アプローチ：トランスワークの基礎と実践」システムズアプローチ研究会，2005年7月31日，於：広島県健康福祉センター
- (5) 「初任者研修講座：カウンセリング」倉敷市教育委員会，2005年8月11日，於：ライブパーク倉敷
- (6) 「自閉症の児童生徒への指導・援助：対人関係能力の発達に向けて」黒崎中学校特別支援教育校内研修会，2005年8月26日，於：倉敷市立黒崎中学校
- (7) 「ブリーフセラピー入門」日本カウンセリング協会岡山支部，2005年11月5日～11月6日，於：サンタケベ

**日上 耕司**（ひかみ・こうじ）

②学術論文

- (1) 「発達障害児を持つ親に対する支援プログラムの効果(1)」吉備国際大学臨床心理相談研究所紀要，2，17-31. 2005年3月15日（共著，連名著者）
- (2) 「発達障害児を持つ親に対する支援プログラムの効果(2)」吉備国際大学臨床心理相談研究所紀要，2，33-

44. 2005年3月15日（共著，連名著者）

⑩講演

- (1)「自閉症の障害特性と指導法について」岡山障害者職業センター業務研修会，2005年2月24日，於：岡山県福祉相談センター大講堂
- (2)「軽度発達障害の理解と援助」高梁市ふれあい促進事業 落合小学校校内研修会，2005年5月27日，於：高梁市立落合小学校
- (3)「軽度発達障害について」，高梁市特別支援教育コーディネーター研修会，2005年7月20日，於：高梁市文化交流館講座室
- (4)「生徒理解について」新見市立千屋中学校校内研修会，2005年8月12日，於：阿新教育会館

**古田 知久**（ふるた・ともひさ）

②学術論文

- (1)田中宏美，川淵正明，荻野 整，妹尾多恵，見口恵里，小幡太志，古田知久，荻野健次（2005）：脳卒中高次脳機能（知的機能）スケールの臨床応用の試み，脳と神経，57(2)：137-142
- (2)庄盛敏廉，古田知久（2005）：てんかんの心理社会的側面について，吉備国際大学社会福祉学部研究紀要，10：7-14
- (3)Hirokazu Matsushita, Akiko Uenaka, Toshiro Ono, Kosei Hasegawa, Shuichiro Sato, Fumihito Koizumi, Kazuhiko Nakagawa, Masahiro Toda, Tetsuro Shingo, Tomotsugu Ichikawa, Yuji Noguchi, Takashi Tamiya, Tomohisa Furuta, Takeshi Kawase, Isao Date, Eiichi Nakayama (2005) : Identification of glioma-specific RFX4-E and -F isoforms and humoral immune response in patients, *Cancer Science*, 96 (11) : 801-809

④学会発表

- (1)結節性硬化症を伴わず腫瘍細胞のみに TSC 2 遺伝子の異変と LOH を認めた弧発 subependymal giant cell astrocytoma（連名発表，連座）第23回 日本脳腫瘍病理学会，平成17年4月21日～22日，東京
- (2)Oligodendroglioma をベースに悪性化したと考えられた glioblastoma の1例（連名発表，連座）第10回 日本外科病理学会学術総会，平成17年10月22日～23日，愛知

**松永 美希**（まつなが・みき）

①著訳書

- (1)「強迫性障害に対するグループ療法の試み」（共著）OCD研究会編「強迫性障害の研究」星和書店，2005年4月29日
- (2)「第7章 状況分析の修正段階」（分担訳）古川壽亮・大野裕・岡本泰昌・鈴木伸一監訳「慢性うつ病の精神療法：CBASPの理論と技法」医学書院，2005年11月1日

④学会発表

- (1)うつ病患者を対象とした集団認知行動療法プログラムの効果：縦断的フォローアップ研究を中心に 第4回日本認知療法学会抄録集，p.87，2005年2月19日，於：札幌コンベンションセンター（連名発表，発表責任者）
- (2)不登校が長期化した生徒に対する行動療法的介入—適応指導教室の通級援助を通して—第31回日本行動療法学会論文集，p.262-263，2005年10月9日，於：広島大学（単名発表）
- (3)うつ病患者を対象とした集団認知行動療法プログラムの効果：単一挿話と反復性との比較検討 第5回日本認知療法学会抄録集，p.78，2005年12月10日，於：名古屋銀行協会会館（連名発表，発表責任者）
- (4)うつ病患者を対象とした集団認知行動療法プログラムの効果：短期的効果を中心に 第4回日本認知療法学会発表論文集，p.86，2005年2月19日，（連名発表，連座）
- (5)うつ病患者を対象とした集団認知行動療法プログラムの効果：うつ病患者を対象とした集団認知行動療法プログラムの効果：fMRIによる脳機能の評価を中心に 第4回日本認知療法学会発表論文集 p.88，2005年2月19日，（連名発表，連座）

**三宅 俊治**（みやけ・しゅんじ）

②学術論文

- (1)（共著・第一著者）「高齢者の不安構造の経年変化—1993年から2003年の6回の調査に基づいて—」国際教育

研究所紀要 14, 45-63. 2005年3月.

- (2) (単著)「不安に及ぼす身体不調感と将来展望の影響—若年・中年・高齢者の比較—」心身医学 45(12), 923-932. 2005年12月.

⑩講演

- (1)「交通マナーの向上に向けて—法令遵守, 社会規範, マナーを考える—」  
《岡山県警本部・岡山県安全運転学校》「平成17年度安全運転管理者講習」講演  
2005年6月2日. 於:岡山市西大寺(旭川荘研修センターよしい川)
- (2)同上. 2005年6月15日. 於:倉敷市玉島(玉島公民館)
- (3)同上. 2005年6月17日. 於:赤磐市(万富公民館)
- (4)同上. 2005年6月23日. 於:新見市(新見文化交流館)
- (5)同上. 2005年6月30日. 於:笠岡市(笠岡市民会館)
- (6)同上. 2005年7月7日. 於:都窪郡早島町(岡山テルサホール)
- (7)同上. 2005年7月15日. 於:岡山市御津(県運転免許センター)
- (8)同上. 2005年7月21日. 於:高梁市(高梁市文化交流館)
- (9)同上. 2005年7月28日. 於:玉野市(玉野レクセセンター)
- (10)「安全運転を励行するために—車間距離の心理学—」  
(独立行政法人)《自動車事故対策機構》「平成17年度運行管理者指導者講習」講演  
2005年8月31日. 於:岡山市(トラック総合研修会館)
- (11)同上. 2005年9月28日. 於:岡山市(トラック総合研修会館)
- (12)同上. 2005年9月29日. 於:岡山市(トラック総合研修会館)

森井 康幸 (もりい・やすゆき)

④学会発表

- (1)「話し手の身振りが聞き手の記憶に及ぼす影響」(連名)日本心理学会第69回大会, 2005年9月11日, 於:慶應義塾大学
- (2)「大学生における中学生以前のいじめ被害経験の影響—苦痛の程度といじめ経験開示の効果—」(単名発表)  
日本教育心理学会第47回総会, 2005年9月19日, 於:浅井学園大学

渡辺 由己 (わたなべ・ゆうき)

①著訳書

- (1)「division II 臨床心理査定学」(分担執筆), 岡堂哲雄(監修)大熊保彦・土沼雅子・橋本泰子・長谷川啓三・森田美弥子(編集)「現代のエスプリ別冊 臨床心理学入門事典」, 至文堂, 102-103, 120, 2006年4月.

⑧公開講座

- (1)平成17年度吉備国際大学第15回公開講座「高齢者と社会」(5月7日~8月6日)  
主催:吉備国際大学, 担当:「高齢者, および高齢者のケアにあたる人々の精神的健康はいかに維持されるのか?—臨床心理学的視点からの考察—」2005年6月4日, 於:高梁市総合文化会館2階レクチャールーム.

⑩講演

- (1)「現代高校生の精神的健康に影響する諸要因」倉敷工業高校校内研修, 2005年7月8日, 於:岡山県立倉敷工業高校.
- (2)「高齢者の認知・精神機能評価について—チームケアに役立つ工夫の仕方—」東備地区リハビリテーション勉強会, 2005年11月24日, 於:備前市立吉永病院.
- (3)「欠席がちの児童に対する教職員の対応について」玉川小学校校内研修, 2005年12月6日, 於:高梁市立玉川小学校.

## 福祉ボランティア学科

橋本由紀子（はしもと・ゆきこ）

### ①著訳書

- (1) パーソン・センタード・プランニング（共訳）1, 2, 3, 章分担 中園康夫, 武田則昭, 末光茂, 編集 相川書房 平成17年9月

### ②学術論文

- (1) インドの農村女性のエンパワーメントと思春期女子教育の重要性に関して－農村開発 NGO の活動から（単著）吉備国際大学社会福祉学部研究紀要第10号 137-144, 平成17年3月

### ④学会発表

- (1) 「国際協力実習インド」実践報告 単 大学における海外体験学習研究会, 第2回全国大会 恵泉女学園大学 平成17年10月22日

平松 正臣（ひらまつ・まさおみ）

### ②学術論文

- (1) 「高齢者福祉領域における社会福祉援助技術現場実習の現状－全国調査との比較を中心として－」吉備国際大学社会福祉学部研究紀要 第10号, pp55-64, 2005年3月31日（共著, 連名著者）  
 (2) 「高齢者福祉領域における社会福祉援助技術現場実習の内容と学び－学生調査と施設調査の比較－」保健福祉研究所研究紀要 第6号, pp59-67, 2005年3月（共著, 連名著者）

### ③報告書

- (1) 「高齢者福祉領域における実習教育のあり方(3) 平成16年度社会福祉学部学内共同研究報告書」吉備国際大学社会福祉学部学内実習委員会（高齢者福祉グループ）, 2005年3月（共著, 連名著者）

### ⑩講演

- (1) 「人権とは何か」瀬戸町人権教育推進委員会研修会（瀬戸町教育委員会主催）2005年1月6日, 於：瀬戸町役場（瀬戸町）  
 (2) 「地域福祉は私たちの手で」湯原町福祉ネットワーク委員研修会（湯原町主催）2005年3月7日, 於：湯原町保健福祉センター（湯原町）  
 (3) 「ボランティア活動の悩みや不安はありませんか？」はやしま福祉フォーラム（早島町社会福祉協議会主催）, 2005年3月26日, 於：早島町地域福祉センター（早島町）  
 (4) 「ボランティア活動の意義とその必要性」生涯学習ボランティア養成セミナー（岡山県生涯学習センター主催）, 2005年4月24日, 於：岡山県生涯学習センター（岡山市）  
 (5) 「障害について考える」倉敷高等学校教育講演会（倉敷高等学校主催）2005年5月14日, 於：倉敷高等学校（倉敷市）  
 (6) 「ボランティアを考える」総合的な学習の時間（福山市立福山高等学校主催）2005年5月18日, 於：福山市立福山高等学校（福山市）  
 (7) 「障害について考える」倉敷高等学校教育講演会（倉敷高等学校主催）2005年5月14日, 於：倉敷高等学校（倉敷市）  
 (8) 「福祉サービスにおける苦情解決の現状と課題」福祉サービス苦情解決シンポジウム（島根県運営適正化委員会主催）, 2005年5月25日, 於：島根県立男女共同参画センター「あすてらす」ホール（島根県大田市）  
 (9) 「人権（同和）教育の指導者に求められるもの」和気町人権啓発員研修講座（和気町主催）, 2005年6月8日, 於：和気町役場（和気町）  
 (10) 「ボランティアとは」ハンセンボランティア養成講座（ゆいの会主催）2005年6月18日, 於：くらしき健康福祉プラザ（倉敷市）  
 (11) 「ボランティアの心構え」平成17年度地域活動実践講座絵手紙指導編（岡山県社会福祉協議会主催）, 2005年7月6日, 於：岡山県総合福祉会館（岡山市）  
 (12) 「サービス提供の基本視点」訪問介護員養成研修2級課程（高梁市主催）2005年7月13日, 於：高梁市川上総合学習センター（高梁市川上町）  
 (13) 「ボランティア活動について」教育講演会（岡山県立倉敷中央高等学校主催）2005年7月13日, 於：岡山県立

倉敷中央高等学校（倉敷市）

- (14)「ボランティア・市民活動とは？」平成17年度ボランティアコーディネーター養成講座(岡山県社協主催)，2005年7月14日，於：津山市総合福祉会館（津山市）
- (15)「心の扉を開いて」美作市生涯学習講座（美作市教育委員会主催），2005年8月9日，於：作東地域子育て支援センター（美作市）
- (16)「ボランティア活動に取り組む前に」第20回メンタルヘルスボランティア養成講座（岡山県精神保健福祉センター主催），2005年8月11日，於：岡山衛生会館（岡山市）
- (17)「ボランティア・市民活動とは？」平成17年度ボランティアコーディネーター養成講座(岡山県社協主催)，2005年8月12日，於：岡山県総合福祉会館（岡山市）
- (18)「おもてなし講習会」夏季国体市民スタッフ研修会（玉野市国体局主催）2005年8月17日，於：玉野総合体育館（玉野市）
- (19)「福祉教育をどのように考え，どのようにすすめるか」平成17年度福祉教育セミナー，（総社市社会福祉協議会主催）2005年8月17日，於：総社市市総合福祉センター（総社市）
- (20)「まず一人の人間として」鴨方高等学校人権教育講演会，（鴨方高等学校主催）2005年8月18日，於：鴨方高等学校（鴨方町）
- (21)「福祉について知ろう」平成17年度 Jr. ボランティア養成講座第1回，（総社市社会福祉協議会主催），2005年8月19日，於：総社市総合福祉センター（総社市）
- (22)「21世紀は人権の世紀」倉敷西公民館人権教育講演会，（倉敷西公民館主催）2005年8月20日，於：倉敷西公民館
- (23)「まず人として」人権問題研修講座（岡山市教育委員会主催），2005年8月23日 於：岡山ふれあいセンター（岡山市）
- (24)「生活組織」平成17年度生活指導員養成研修会（岡山県農協職員資格認証委員会主催），2005年8月25日，於：JA 岡山教育研修所（岡山市）
- (25)「身近な福祉を探してみよう」平成17年度 Jr. ボランティア養成講座第2回，（総社市社会福祉協議会主催），2005年8月26日，於：総社市総合福祉センター（総社市）
- (26)「福祉サービスにおける苦情解決の現状と課題」平成17年度福祉サービス苦情解決セミナー（高知県運営適正化委員会主催），2005年9月8日，於：高知県立ふくし交流プラザ（高知市）
- (27)「福祉サービスにおける苦情解決の現状と課題」平成17年度福祉サービス苦情解決セミナー（高知県運営適正化委員会主催），2005年9月9日，於：高知はたJA 会館（四万十市）
- (28)「文化ボランティアとは」図書館ボランティア養成講座，（早島町立図書館主催）2005年9月10日，於：総社市総合福祉センター（総社市）
- (29)「ボランティア活動を考えよう」平成17年度 Jr. ボランティア養成講座第4回，（総社市社会福祉協議会主催），2005年9月10日，於：総社市総合福祉センター（総社市）
- (30)「ボランティア活動の意義と必要性」郷内文化大学（倉敷市郷内公民館主催）2005年9月16日，於：倉敷市郷内公民館（倉敷市）
- (31)「組織活動とコミュニケーション」平成17年度 JA 女性部リーダー養成研修会（JA 岡山県女性組織協議会主催），2005年9月28日，於：岡山県農業会館別館（岡山市）
- (32)「広げよう障害者地域支援の輪を！」高梁福祉フォーラム（高梁障害者（児）地域生活支援ネットワーク主催），2005年10月12日，於：高梁市総合文化会館（高梁市）
- (33)「ボランティアの心構え」土曜日教養講座（岡山県立笠岡高等学校主催）2005年10月22日，於：岡山県立笠岡高等学校（笠岡市）
- (34)「プロ意識と責任」保健福祉セミナー（順正短期大学主催），2005年10月29日，於：順正短期大学（高梁市）
- (35)「先ず人として」平成17年度笠岡人権擁護委員研修会（岡山地方務務局主催）2005年11月16日，於：井原市美星支所（井原市）
- (36)「苦情はサービス向上の宝」ケアプラン研修会（安来市主催），2005年11月26日，於：安来市広瀬保健センター（安来市）

**米良 重徳**（めら・しげのり）

⑩講演

- (1)「21世紀日本社会における地方自治体職員の働きと役割」岡山県職員主任級職員研修会，2005年5月27日，於：岡山県自治研修所
- (2)「学校というNPOマネジメント」兵庫県専修学校各種学校連合会教員教養講習会，2005年8月19日，於：兵庫県中央労働センター
- (3)「人を活かす力をつける」岡山県美作県民局協働に関する研修会，2005年10月1日，於：つやま市民活動センター
- (4)「関係団体・機関との連携」岡山県社会福祉協議会ボランティアコーディネーター養成講座，2005年10月7日，於：津山市総合福祉会館
- (5)「関係団体・機関との連携」岡山県社会福祉協議会ボランティアコーディネーター養成講座，2005年10月14日，於：きらめきプラザ
- (6)「名前はよく聞くけど，NPOって何？」真庭市協働のまちづくり研究会研修，2005年11月16日，於：真庭市役所
- (7)「NPOと行政の協働」真庭市協働のまちづくり研究会研修，2005年12月7日，於：真庭市役所
- (8)「ボランティア万歳！」あじさい介護教室講演会，2005年12月17日，於：特養あじさいのおか牛窓

その他

- (1)真庭市協働のまちづくり研究会コーディネーター（学外連携推進室受託）
- (2)岡山県行財政改革推進委員会委員
- (3)岡山県生涯学習大学運営委員会委員
- (4)岡山県ボランティア・NPO活動促進委員会委員
- (5)岡山県教育委員会全国生涯フェスティバル企画委員会委員
- (6)岡山市環境づくり活動推進専門部会長
- (7)岡山市環境保全審査会委員
- (8)岡山県社会福祉協議会理事
- (9)岡山県共同募金会配分委員会委員